



VOLUME

39

2024年  
4月1日発行

# 連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

**JCHO** Japan Community Health care Organization

理念・基本方針	02
センター長ごあいさつ	03
内科診療センター開設	04
副地域医療連携センター長就任	05

市民健康医学講座	05
DMAT活動報告	06
外来診療担当医一覧表	08



群馬中央病院の理念

# 4つの心

人権尊重の心 | 人間愛の心 | 奉仕の心 | 向上心

## 群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、  
地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、  
超高齢化社会における多様なニーズに応え、  
安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、  
地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

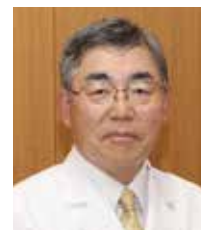
透明性が高く自立的な運営のもと、  
常に医療・介護水準の向上に努める。



# ごあいさつ

■ 院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



本年度最初の連携だよりをお届けいたします。

医師の働き方改革が、いよいよ4月から始まりました。医師の労働時間を制限して、仕事量とサービスを落とすな、という改革であり、まだ手探りのところもありますが、地域の先生がたや地域医療にご迷惑がからないように、病院運営を行ってまいります。

医師の負担軽減は様々な方法が示されていますが、幸い当院は、連携センターが、以前よりこの問題に取り組んでくれています。できるだけスムーズにご紹介患者を受け入れる、ということは、言い換えれば、ご紹介いただく先生と、当院の先生の負担をいかに軽減するか、ということです。今号にもいくつかの新しい試みを紹介させていただきました。連携センターはこれからも、登録医の先生がたの利便性を高めるために、様々な工夫をしてまいりたいと存じます。忌憚ないご意見をお寄せいただき、今後とも一緒により良いシステムを作っていっていただければ幸いに存じます。

私事になり恐縮ですが、4月1日より、当独法の東日本地区担当理事を拝命いたしました。これは、わたくし個人の評価によるものではなく、群馬中央病院がいままで展開してきた、先生方との強い連携による地域医療への貢献や、地域包括ケアシステムへの取り組みが評価されての任命です。北海道から静岡まで25病院を担当せよとのことで、たいへん重い責務ですが、先生方と創ってきた地域連携・地域医療を、担当地区に広げてまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 令和6年4月1日より 内科診療センターを立ち上げました



院長補佐  
健康管理センター長  
内科診療センター長  
今井 邦彦

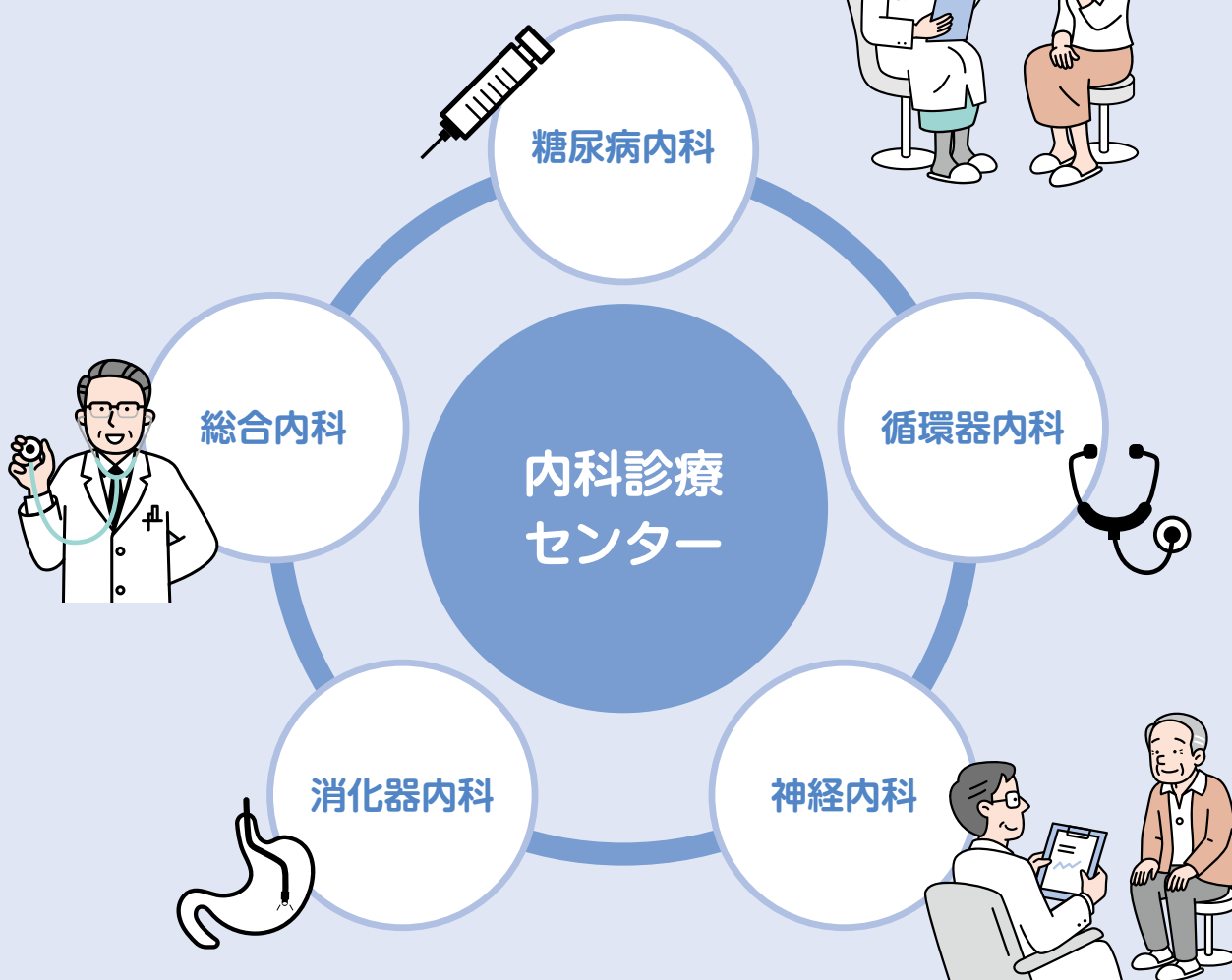
このたび、内科診療センターを立ち上げました。

いままでも、地域でご開業の先生方からの紹介患者さまの受入れにスムーズに幅広く対応する事を心掛けてきましたが、内科専門分野ごとの連絡の不具合などから、ご要望にお応えできなかつたり、受入れに時間がかかたりするケースがみられました。

今回、内科全体として大きな枠組みで対応することによって、一層お役にたつ対応ができるようになるのではないかと考えました。

救急依頼件数も、昨年の1.5倍となり、当院の収容能力を超えてしまう場合も多々ありますが、その中でいかに効率よく地域のみなさまのご要望にお応えしていくか、試行錯誤繰り返しながら、努めて行く所存であります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



# 地域医療連携センター新体制になりました 副地域医療連携センター長に就任しました



消化器内科主任部長  
 副内科診療センター長  
 副地域医療連携センター長  
**湯浅 和久**

地域の先生方におかれましては、平素より当院の診療業務にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。当院には、平成21年に入職し消化器内科医として診療してきましたが、このたび副地域医療連携センター長および副内科診療センター長を拝命いたしました。

当院は地域医療連携センターを中心に、地域の皆様が安心して利用できる病院づくりを心掛け、診療にあたっています。

本年度の診療報酬改定は医療介護同時改定であり、その中身含めて、いかに医療、介護、障害福祉サービスを地域でつないでいくかが重要と考えています。様々な社会的背景、健康問題を有する症例にも対応できるよう、内科診療センターは細分化された専門領域に捉われることなく、疾患の領域を超えて、他の診療科とも協力し、柔軟でつながりのあるチーム医療を実践していきたいと考えています。

当院に地域医療連携センターが発足して10年以上が経ちますが、これまで積み上げてきた経験と実績を生かした中で、より地域に必要とされ、愛される病院になれるよう微力ながら日々精進していきたいと思っております。

今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 市民健康医学講座

市民健康医学講座を開催しました。

当院では、病気に対する正しい知識や予防法を一般市民の方に聞いていただき、知識を深めることを目的に、年2回定期的にテーマを変えて開催しています。今回は『大腸がん』をテーマに管理栄養士・がん認定看護師・消化器がん専門医師の3名による講演を行いました。季節はずれの雪が降るなか、100名を超える方に来場いただくことができ、とても嬉しく思っています。今後も市民の方と一緒に学べる機会を作れるよう、企画していきます。



**大腸がんの知識深める**  
前橋 群馬中央病院が健康講座

来場者の質問に答える深沢さん(右)と品川さん

食生活の欧米化などで患者数が増加している大腸がんへの知識を深めてもらうと、群馬中央病院(前橋市、)や管理栄養士、看護師

内藤浩院長)は23日、同市の県公社総合ビルで市民健康医学講座を開いた。同病院の医師

が大腸がんの基礎知識や治療などを来場者約100人に解説した。外科医長の深沢孝晴さんは「大腸がんの治療」と題して、手術や検診の方法について図解を交えながら、詳しく伝えた。深沢さんは「大腸がんの治し方は早く見つけて、がんを切除すること。症状だけでは早期発見は難しい。定期的な検診と内視鏡による精密検査が重要」と呼びかけた。がん病態栄養専門管

理士の品川浩一さんと、がん化学療法看護師認定看護師の藤本直美さんは、食事や運動の大切さや正しいがんの知識を得るためのポイントなどをそれぞれ講演した。来場者からの質問時間も設けられた。

2024年3月24日 上毛新聞

# DMATの活動報告

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援として1月5日に石川県からDMATの派遣要請があり、当院のDMAT隊が令和6年能登半島地震で2班に分かれて、派遣されました。



## リハビリテーション部 皆川 幸光

当院からは医師、看護師、薬剤師、理学療法士の4名が先発隊として活動することになりました。

1月6日から1月9日まで石川県七尾市にある能登総合病院内のDMAT活動拠点本部で活動をしてきました。

活動拠点本部では被災病院や避難所の情報、患者搬送情報、物資やガソリン、道路情報、活動DMAT隊の情報など多くの情報が集められます。その中で北海道から沖縄まで全国から集まってくるDMAT隊や多くの活動部隊の対応が中心となりました。7時から19時までDMAT隊の人数や資機材、搬送車の確認を行い、道路状況や連絡先の確認、毎日の健康チェックの提出などを説明し、各DMAT隊の登録作業を行いました。

能登総合病院も駐車場に亀裂が入り貯水タンクや病院の壁、天井など所々が破損していました。電気は通っていましたが水は節水で、当院から持って行った水も「ありがたく使わせていただきます」と感謝されました。

天候も雪の日が多く、道路状況も悪かったですが、先発隊として活動も短期間であり、後任のDMAT隊に引き継ぎ、全ての任務を無事に終了し帰還することが出来ました。今回の派遣にあたり、車や活動物資の準備、活動中の後方支援まで多くの部署の協力で活動できたことを感謝しています。

## 臨床検査部 小澤 晃

群中DMAT2隊目として、医師、看護師、事務、検査の計4名で1月11日～1月18日の間DMAT4次隊として派遣されました。

派遣の決定が11日の10時、参集時刻が12日の9時に能登総合病院（移動に約6時間）となっていたため、夜中の運転を避け、群中を11日の16時に出発することとなりました。

参集時点では、能登、穴水、珠洲、どの地域で活動するか不明確だったので、雑魚寝・車中泊を覚悟して参集拠点に向かいましたが、能登総合病院活動拠点本部での活動となり一安心しました。活動拠点本部では、ベテランのロジスティクスチームから構成される本部ロジチームのサポートという形で活動させて頂きました。

主な業務としては、クロノロジーと呼ばれる本部の活動記録の作成、電話連絡の対応、各種情報共有のサポートなどの業務を行いました。5日間という限られた期間での活動でしたが、被災地で起こる様々なトラブルに対応する方法をみんなで検討し実行するプロセスを学べて、とても良い経験ができました。



## 被災医療機関支援 看護師派遣の報告

手術室 五十嵐 美穂

外来 田畑 千恵子

被災医療機関支援で、2024/1/22～1/27に石川県の公立穴水総合病院へ行ってきました。現地は、電気の供給は安定していましたが、まだ断水が続いていました。私たちは4日間病棟勤務をし、夜勤も行いました。ほとんど機能別の業務になっており、ケアや血糖測定、点滴管理、点眼などは派遣の看護師が実施し、バイタル測定や患者の観察、記録は現地の看護師が行っていました。

今までテレビなどで情報を得てはいましたが、実際の現場は想像を絶することばかりでした。震災後は通常の生活すら困難になります。普段行われている災害訓練もちろん大事ですが、震災後に大きく状況が変化した中でどのように病院を機能させていくか、とても考えさせられました。



金沢県庁からチャータータクシーでお出迎え。各地のJCHOから集まった看護師6人で、公立穴水総合病院に向かいました。



病院には、DMATや自衛隊など、たくさんの支援車両が駆けつけていました。



被災しながら業務に従事され、子連れで通勤されている人も多くいました。



病院の中や周辺地域にも、地震による被害が見受けられました。



断水が続いていたため、循環型の手洗い器や自衛隊による入浴支援がありました。



当院の五十嵐さん・田畑さんは、病棟・外来業務を行いました。看護業務以外の他、トイレ掃除なども行いました。地震以降、掃除業者やごみ収集業者などは撤退されたようです。



患者さんの食事と支援者に支給された食事です。



穴水総合病院では玄関前に、来院した患者さんが使用するための車いすの他、シルバーカーも置いてありました。



厳しい状況の中での勤務、お疲れ様でした。

診療科・曜日		月	火	水	木	金	
内科	総合内科(初診)	午前	齋藤 勇一郎	阿久澤 暢洋・小保方 優	阿久澤 暢洋	平山 結佳子	阿久澤 暢洋・佐藤 浩子
	一般(予約)	午前			今井 邦彦・田嶋 久美子	今井 邦彦・田嶋 久美子	長谷川 典子
		午後	今井 邦彦・田嶋 久美子	北原 陽之助	今井 邦彦		田嶋 久美子
	循環器内科(予約)	午前	羽鳥 貴・吉田 尊 須賀 俊博(1・3・5週) 須賀 俊博(糖尿病2・4週) 田村 駿太郎(不整脈2・4週)	羽鳥 貴 田部井 亮太 (下肢動脈硬化)	吉田 尊	須賀 俊博	
呼吸器科(予約)	午後	山口 公一	武藤 壮平	解良 恭一	小池 陽子	蜂巢 克昌	
神経内科(予約)		午前	大沢 天使		椎名 葵	大沢 天使	
		午後	金子 由夏		大沢 天使	椎名 葵	
消化器内科	初診	午前	堀内 克彦	田原 博貴		湯浅 和久	
	予約	午前	清水 雄大(胆・脾)	小川 綾	堀内 克彦・小川 綾		湯浅 和久 堀内 克彦(1・3・5週) 田原 博貴(2・4週)
		午後	岡村 亜弓	田原 博貴	岡村 亜弓		
糖尿病センター(予約)		午前	根岸 真由美 須賀 俊博(2・4週)	根岸 真由美・有山 泰代	中島 康代	中島 康代	根岸 真由美・登丸 琢也
		午後		中島 康代 フットケア		根岸 真由美	
小児科	一般	午前	河野 美幸・澤浦 法子	田代 雅彦・須永 康夫	田代 雅彦・水野 隆久	田代 雅彦・須永 康夫	田代 雅彦
	心臓(予約)	午後			田代 雅彦(1・3・5週) 小林 富男(2・4週)	田代 雅彦(循環器) 江田 陽一(専門)	
	神経発達(予約)	午前	須永 康夫		須永 康夫	須永 康夫	春日 夏那子・澤浦 法子
		午後	須永 康夫・橋本 真理	須永 康夫	須永 康夫	須永 康夫	
	アレルギー(予約)	午前					水野 隆久
		午後	水野 隆久			水野 隆久	水野 隆久
	腎臓(予約)	午後	田畑 洋太(2・4週) 平形 絢子(1・3・5週)		武井 麻里子	山崎 陽子	武井 麻里子
	発達フォロー(予約)	午前				河野 美幸	
		午後		河野 美幸	河野 美幸		
乳児健診(予約)	午後		江田 陽一・柴塚 拓巳				
予防注射(予約)		午後			松野 早紀・中澤 優之介		
外科	一般・消化器	午前	内藤 浩・深澤 孝晴 高橋 宏一	福地 稔・谷 賢実 木暮 憲道 調 憲(肝・胆・脾)【紹介】	福地 稔・原 圭吾 喜連 佑子 阿部 知伸(心臓血管外科)	内藤 浩・深澤 孝晴 高橋 宏一 五十嵐 隆通(肝・胆・脾)	深澤 孝晴・木暮 憲道 原 圭吾・喜連 佑子
		午後(予約)		山口 玲 (脳神経外科14:00～) 久保 憲生(肝・胆・脾)		大瀧 容一(呼吸器外科) 長嶋 起久雄(緩和ケア外科)	
	乳腺・甲状腺(紹介)	午前				尾林 紗弥香	
		午後	荻野 美里 (14:00～17:00)				
整形外科	一般	午前	寺内 正紀(膝) 堤 智史(脊椎) 中島 飛志(脊椎) 野仲 聡志(膝)	寺内 正紀(膝) 堤 智史(脊椎) 畑山 和久(膝) 中島 飛志(脊椎)	畑山 和久(膝) 野仲 聡志(膝) 島田 剛志(一般)	堤 智史(脊椎) 中島 飛志(脊椎) 島田 剛志(一般)	寺内 正紀(膝) 畑山 和久(膝) 野仲 聡志(膝) 島田 剛志(一般)
		午後(予約)					畑山 和久(膝) (1・3週金曜)
産婦人科	一般	午前	伊藤 理廣・金井 真理 長谷川 祐子	北原 慈和・伊藤 理廣 (8:30～10:00)	太田 克人・伊藤 理廣 (10:00～12:00) 村上 麻耶	太田 克人・亀田 高志 塚田 睿子	伊藤 理廣・安部 和子
	妊婦健診	午前	村上 麻耶	安部 和子	亀田 高志	伊藤 理廣(妊婦のみ)	長谷川 祐子
		午後(予約)	塚田 睿子		亀田 高志	篠崎 博光(ハイリスク)	
眼科	一般	午前	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子
耳鼻咽喉科(予約)	一般	午前	工藤 毅・内山 通宏	工藤 毅・内山 通宏	内山 通宏	工藤 毅(紹介) 内山 通宏(紹介)	工藤 毅・内山 通宏
	予約	午後	検査	工藤 毅(嚥下) 内山 通宏(嚥下) 竹越 哲男	塚田 晴代 検査	茂木 雅臣(1・3・5週) 富所 雄一(2・4週)	工藤 毅(嚥下) 内山 通宏(嚥下)
皮膚科	一般	午前	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎
		午後(予約)				龍崎 圭一郎	
歯科(予約)	一般	午前・午後	平林 晋	平林 晋	平林 晋	平林 晋	平林 晋

【ご案内】①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いいたします。(平日 8:30～18:00) ※詳細についてはホームページをご確認ください。

連携室直通電話：027-223-1373 FAX：027-223-1374

- ②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。
  - ◎予約制外来……終日予約(神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来)
  - ◎紹介型外来……乳腺・甲状腺(月曜日の午後・木曜日の午前)、耳鼻咽喉科(木曜日の午前)
- ③その他
  - ・消化器内科は、水曜日と金曜日は予約外来のみとなっております。
  - ・整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。
  - ・総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間 8:30～18:00  
土・日・祝日は除く

TEL 027-223-1373 [直通]  
FAX 027-223-1374 [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構



〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415  
ホームページ <http://gunma.jcho.go.jp/> フェイスブック <https://www.facebook.com/gunmatyoubuyouin/>

